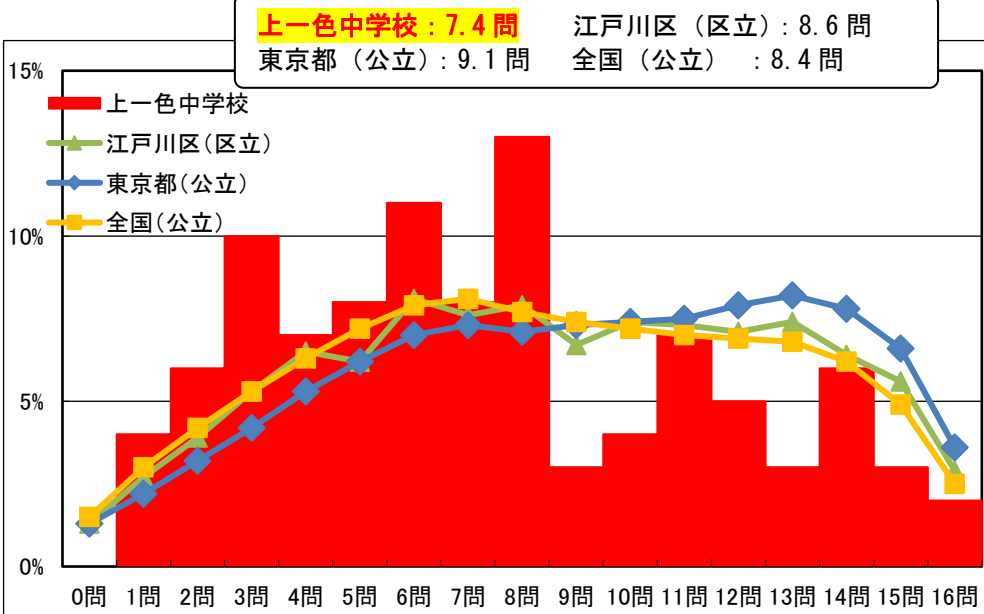


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 上一色中学校

正答数分布

平均正答数

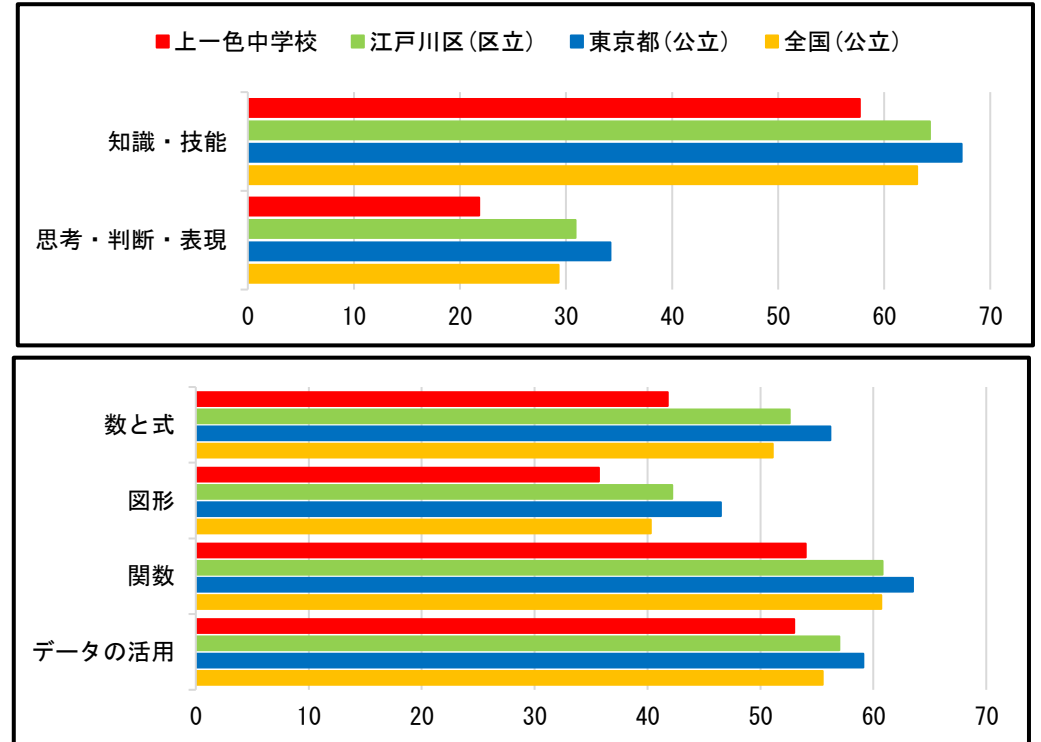


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 13~16 問	B層 9~12 問	C層 6~8 問	D層 0~5 問
上一色中学校	14.0	19.0	32.0	35.0
江戸川区 (区立)	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都 (公立)	26.2	30.1	21.4	22.3
全国 (公立)	20.4	28.5	23.7	27.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

上一色中学校	47%
江戸川区 (区立)	54%
東京都 (公立)	57%
全国 (公立)	52.5%
都との差	10ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

- ・平均正答率は7.4問と出ているが、正答数分布から8問以下と9問以上で大きく二分されていることが分かる。
- ・C層に対しては、グループ活動で教え合いをすることによって、既習事項を活動の中で取り入れ、応用できる力を養っていく。
- ・D層については、基本的な計算問題の復習などをワークや課題プリントを繰り返し活用することで既習事項の定着を図っていきたい。